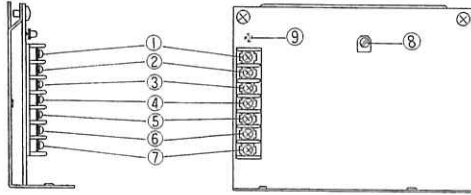
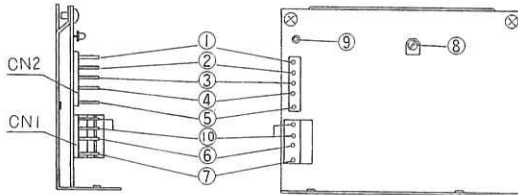


## 1. 端子配列・ボリューム

### ■端子台タイプ



### ■コネクタタイプ(オプション)



- ① -12V(-15V)出力端子
- ② +12V(+15V)出力端子
- ③ G2 ±12V(±15V) GND端子
- ④ G1 +5V GND端子
- ⑤ +5V出力端子
- ⑥ } 入力端子 AC85~132V 1φ 48~440Hz
- ⑦ } 又はDC110~170V
- ⑧ 出力電圧可変ボリューム(+5V)
- ⑨ 出力電圧確認用LED(+5V)
- ⑩ あき端子

### ■入出力コネクタ

入出力コネクタ	適合ハウジング(ターミナル)
CN1	5289-4A
	2390 V4(5167) 5199-04(5194)
CN2	5287-5A
	2390 V5(5167) 5199-05(5194)

(メーカー:モレックス)

## 2. 機能説明

### ■2.1 突入電流

- 入力突入電流防止回路を内蔵しています(AC 100V時20A typ.)
- 入りにスイッチなどをご使用の場合、入力突入電流に耐えるものをご使用ください。

### ■2.2 過電流保護

- 過電流保護回路(定格電流の110%以上で動作)を内蔵しており、20秒未満の短絡・過電流に対して保護します。短絡・過電流状態を解除すれば、自動的に復帰します。
- 20秒以上短絡・過電流状態が続きますと、内部素子を破壊することがありますのでご注意ください。

### ■2.3 出力電圧可変

- 出力電圧は、ボリュームで+5Vだけ可変できます。
- 可変範囲は、KMC15-1が4.75~5.25V、KMC15-2が5.00~5.25Vです(時計方向で高くなり、反時計方向で低くなります)。
- ±12V(±15V)の出力電圧は、可変できません。

### ■2.4 絶縁耐圧

- 受入検査等で耐圧試験を行うときは電圧を徐々にあげてください。また、遮断するときもダイヤルを使用し、電圧を徐々にさげてください。特にタイマー付き耐圧試験器でのタイマー使用は避けてください。

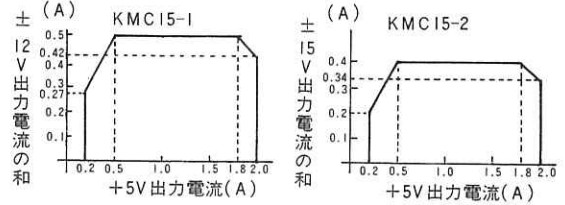
### ■2.5 +5V最低出力電流

#### ■KMC15-1

- +5V出力電流は0.5A以上でご使用ください。
- +5V出力電流が0.2~0.5Aでは、+12V、-12V出力電流の和は0.27~0.5Aとなります。

#### ■KMC15-2

- +5V出力電流は0.5A以上でご使用ください。
- +5V出力電流が0.2~0.5Aでは、+15V、-15V出力電流の和は0.2~0.4Aとなります。



## 3. 直列・並列運転

- +12V(+15V)・-12V(-15V)を直列にし、24V(30V)として使用できます。
- 他の電源との直列及び並列運転はできません。

## 4. FG端子

- 本機には、FG端子は付いておりませんので、FGが必要な場合、シャーシからお取りください。

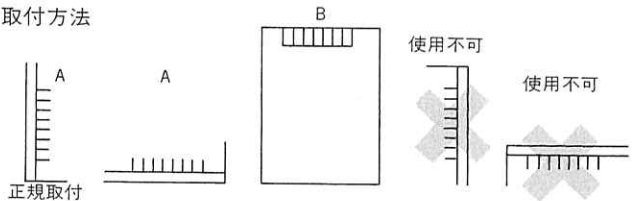
## 5. 取付けネジ

- 電源の取付方法は、取付けネジと内部部品との絶縁距離を保つため、取付けネジの電源内に入る長さは6mm以下にしてください。

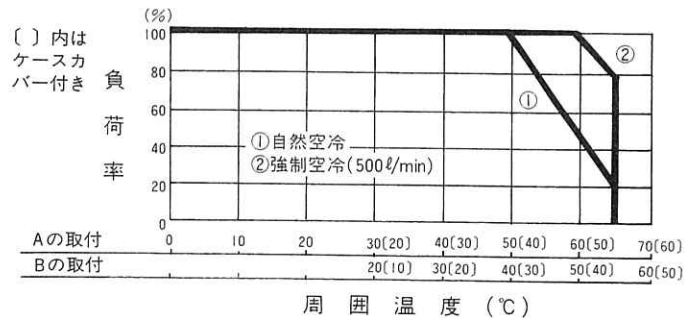
## 6. 出力ディレーティング

- ケースカバー有無や取付方法によって、使用できる周囲温度が異なりますので、下図ディレーティング表を考慮してください。

### (1)取付方法

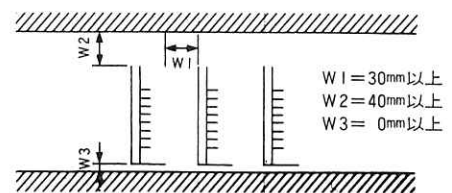


### (2)ディレーティング表



## 7. 複数の電源の使用

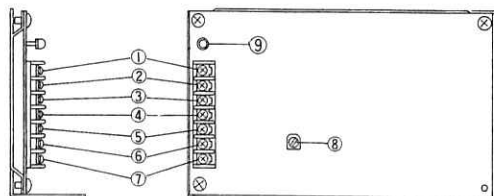
- 複数の電源を並べてご使用になる場合は、自然対流を考慮のうえ、下図を守ってください。



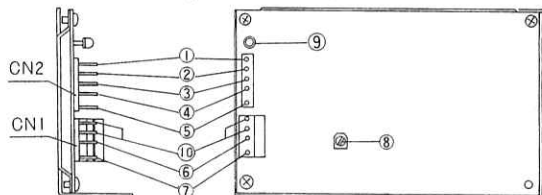
- W1 = 30mm以上
- W2 = 40mm以上
- W3 = 0mm以上

## 1. 端子配列・ボリューム

### ■端子台タイプ



### ■コネクタタイプ(オプション)



- ① -12V (-15V) 出力端子
- ② +12V (+15V) 出力端子
- ③ G2 ±12V (±15V) GND端子
- ④ G1 +5V GND端子
- ⑤ +5V出力端子
- ⑥ } 入力端子 AC85~132V 1φ 48~440Hz
- ⑦ } 又は DC110~170V
- ⑧ 出力電圧可変ボリューム(+5V)
- ⑨ 出力電圧確認用LED(+5V)
- ⑩ あき端子

### ■入出力コネクタ

入出力コネクタ	適合ハウジング(ターミナル)
CN1	5289-4A 2390 V4(5167)
	5199-04(5194)
CN2	5287-5A 2390 V5(5167)
	5199-05(5194)

(メーカー:モレックス)

## 2. 機能説明

### ■2.1 突入電流

- 入力突入電流防止回路を内蔵しています。  
(A C 100V時30A typ...ただし、コールドスタート時)
- 入力にスイッチなどをご使用の場合は、入力突入電流に耐えるものをご使用ください。

### ■2.2 過電流保護

- 過電流保護回路(定格電流の110%以上で動作)を内蔵しており、20秒未満の短絡・過電流に対して保護します。短絡・過電流状態を解除すれば、自動的に復帰します。
- 20秒以上短絡、過電流状態が続きますと、内部素子を破壊することがありますので、ご注意ください。

### ■2.3 出力電圧可変

- 出力電圧は、ボリュームで+5Vだけ可変できます。
- 可変範囲は、KMC30-1が4.75~5.25V、KMC30-2が5.00~5.25Vです(時計方向で高くなり、反時計方向で低くなります)
- ±12V(±15V)の出力電圧は、可変できません。

### ■2.4 絶縁耐圧

- 受入検査等で耐圧試験を行うときは電圧を徐々にあげてください。また、遮断するときもダイヤルを使用し、電圧を徐々にさげてください。特にタイマー付き耐圧試験器でのタイマー使用は避けてください。

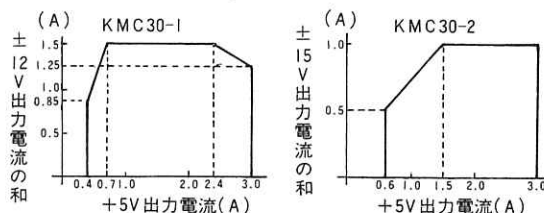
### ■2.5 +5V最低出力電流

#### ■KMC30-1

- +5V出力電流は0.7A以上でご使用ください。
- +5V出力電流が0.4~0.7Aでは、+12V、-12V出力電流の和は0.85~1.5Aとなります。

#### ■KMC30-2

- +5V出力電流は1.5A以上でご使用ください。
- +5V出力電流が0.6~1.5Aでは、+15V、-15V出力電流の和は0.5~1.0Aとなります。



## 3. 直列・並列運転

- +12V(+15V)・-12V(-15V)を直列にし、24V(30V)として使用できます。
- 他の電源との直列及び並列運転はできません。

## 4. FG端子

- 本機には、F G端子は付いておりませんので、F Gが必要な場合は、シャーシからお取りください。

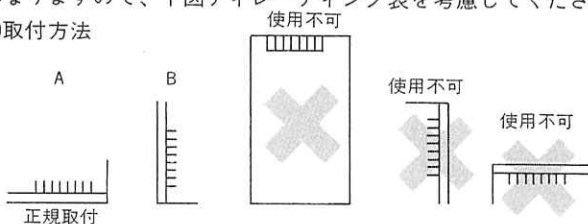
## 5. 取付けネジ

- 電源の取付方法は、取付けネジと内部部品との絶縁距離を保つため、取付けネジの電源内に入る長さは6mm以下にしてください。

## 6. 出力ディレーティング

- ケースカバー有無や取付方法によって、使用できる周囲温度が異なりますので、下図ディレーティング表を考慮してください。

### (1)取付方法



### (2)ディレーティング表



## 7. 複数の電源の使用

- 複数の電源を並べてご使用になる場合は、自然対流を考慮のうえ、下図を守ってください。

